

# 4パーミル運動に 取り組めないか

**答** 本町の農業に適したものが  
農業関係団体等に確認する



大宜見 洋文 議員

**問** 本町も4パーミル運動に  
取り組めないか。4パーミル  
運動とは何か説明せよ。

**町長** 世界の土壌の表層の炭  
素量を年間0・4%（4パー  
ミル）増加させることで、人  
間の経済活動によって発生す  
る大気中の二酸化炭素を実質  
ゼロにすることができると。こ  
の考え方に基づく国際的な取  
り組みと理解している。

**問** 切った枝や樹木の幹を2  
年ぐらい放置すれば、それが  
枯れ朽ち、土の中に入れば、  
5年から10年ぐらい肥料を入  
れなくて済む土壌が生まれる。  
学校の樹木の伐採や、公園道

路、自治会の拝所や公園、街  
路樹から処分される倒木や剪  
定の枝を廃棄物とするのでは  
なく、4パーミル運動を展開  
して、付加価値をつけるシス  
テムに変えてもらいたいがあ  
うか。

**町長** 農林水産省もみどりの  
食料システム戦略の実現に向  
け、グリーンな栽培体系の取  
り組みの一つとして推進して  
いることから、本町の農業に  
適したものか農業関係団体等  
に確認する。

**問** 捨てている木や草を処理  
する事で有効活用できるシス  
テムを、大学などの研究機関

や処分を委託している町内の  
業者、使う側の農家、意識の  
高い町民代表、例えば南風原  
エコセンターのスタッフや会  
員などを交えて意見交換して、  
今後そういうシステムがつく  
れるか検討してもらいたい  
がどうか。



仮置される伐採した草木等

**町長** 農業改良普及センター、  
またJAの営農指導員等、技  
術がある方に農業に適したも  
のか、確認していくことが重  
要だと考える。

**部活動の地域移行、  
その後の経過は**

**問** 部活動の地域移行、その  
後の経過はどうか。

**教育長** 現在、部活動指導員を  
活用し、土日の部活動を教員  
の引率がなくても活動できる  
ように取り組んでいる。

**問** 「北九州市部活の未来を  
考える会」という有識者から  
意見を聴取する検討会議が今  
年3回開催され、そのレジュ  
メや会議録もネットで見るこ  
とができる。是非本町でもそ  
のような情報発信、見せ方を  
してもらいたい、どうか。  
**教育長** 北九州市の取り組みも  
参考に調査研究していく。